

健康



幼児食講習会

日時・内容 ①11月22日(火)・中華であったまろう②12月12日(月)・おせち料理を作ってみよう、いずれも午前10時〜午後1時
場所 保健・福祉合同庁舎3階(受付2階)
対象 離乳食完了し、就学前の子どもと保護者(対象児には保育あり、保護者のみの参加可)
定員 各10組(要申込、定員になり次第締切)
参加費 500円(昼食代含む)、子ども1人につき200円追加
申込開始 ①11月7日(月)②12月1日(木)
申込・問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7000



おしらせ ひろば

スラックと美活教室 受講者募集

市では女性の健康づくりを応援しています。日頃、育児や仕事などで忙しいあなた!「食事と運動でカラダの中も外もきれいになる」をキーワードに、一緒に美活をはじめましょう。1回目は調理実習があり、昼食付きです。

対象 生後5カ月〜8カ月頃までの子どもと保護者(対象児には保育あり、保護者のみの参加可)
定員 10組(要申込、定員になり次第締切)
参加費 200円
申込・問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7000

離乳食講習会

聴いて・見て・作って・食べて離乳食を体験できます。
保育士・看護師による保育もありますので、安心して受講いただけます。
日時 11月25日(金)午後1時30分〜3時30分
場所 保健・福祉合同庁舎3階(受付2階)

Table with 2 columns: 内容 (栄養講義・調理実習「美活クッキング」, 運動実習「美ボディへの道」) and 日時(全2回) (12月2日(金) 午前9時30分〜午後1時30分, 12月9日(金) 午前9時30分〜11時30分)

対象 保健・福祉合同庁舎30〜50歳代の女性市民
定員 8人(要申込、定員になり次第締切、保育は要相談)
参加費(2回分) 500円
申込・問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7000

11月10日〜16日は、アルコール関連問題啓発週間

お酒を「やめたいのにやめられない」それは、依存症かもしれません。アルコール依存症は、飲酒のコントロールができなくなる病気です。「もしかして、依存症かも?」と思ったら、まずはご相談ください。府内の依存症相談窓口は、府ホームページをご覧ください。

Table with 2 columns: 大阪府こころの健康総合センター (平日: 午前9時〜午後5時45分), おおさか依存症土日ホットライン (土・日: 午後1時〜5時), 岸和田保健所 (平日: 午前9時〜午後5時45分)

生後6カ月〜4歳の新型コロナワクチン接種

10月24日より、生後6カ月〜4歳児の接種が開始され、努力義務が適用されました。
費用 無料(全額公費負担)
ワクチンの種類 乳幼児用ファイザー社ワクチン
接種券 対象者に順次発送
接種予約 市ホームページ
接種予約 貝塚市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター ☎0120-729-722(フリーダイヤル) 平日、土・日・祝: 午前9時〜午後5時30分



オミクロン株対応新型コロナワクチンの接種間隔が5カ月→3カ月に変更

オミクロン株対応新型コロナワクチンの接種間隔が、最終の接種から3カ月以上となりました。
接種券 接種間隔を考慮し対象者に順次発送(すでに接種間隔が5カ月と記載されたチラシが同封された接種券をお持ちのかたも接種可能)
問合せ先 貝塚市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター ☎0120-729-722(フリーダイヤル) 平日、土・日・祝: 午前9時〜午後5時30分

11月6日〜令和5年3月26日 市立休日急患診療所に発熱外来を開設

要電話予約
対象 37.5度以上の発熱症状がある市民で、以下のいずれかに該当するかた
①65歳以上②15〜64歳で重症化リスクがある③妊婦
予約方法 市立休日急患診療所へ電話(072-432-1453)で※予約枠には限りがあります。
診察日時 日・祝・年末年始の午前10時〜午後4時
※詳しくは、ホームページをご覧ください。
問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7410



新型コロナとインフルエンザ同時流行の懸念

昨シーズンは全く患者さんを見ることはありませんでしたが、今年は8月頃からポツポツとインフルエンザの患者さんが出ています。またオーストラリアなどでも昨シーズンは流行がなかったのに今年は流行しました。このことから、今シーズンは日本でもインフルエンザの流行が懸念されています。
現在のところ、医療機関では発熱の患者さんが来られると発熱外来での対応となります。そのため一人の患者さんの診療にかかる時間はどうしても長くなりがちです。そこに小児のヘルパンギーナ、RSウイルス感染症など発熱性疾患が流行し始めると、発熱外来はあっという間にいっぱいになってしまいます。成人も含めてインフルエンザの流行が重なると、発熱以外の患者さんの診察も十分にできない状況も考えられます。
2年間流行がなかったことにより各個人の持っているインフルエンザに対する免疫は下がっていることが考えられます。新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種も継続して進められていますが、インフルエンザについてもワクチン接種を中心とした予防に努めていただければと思います。
問合せ先 貝塚市医師会 ☎072-423-4130

ほっ スピタル・か い づ か

(57) 婦人科疾患の腹腔鏡下手術

お腹を大きく切らずに小さな穴をあけて行う手術です。
通常、臍(へそ)に12ミリの穴を1カ所、下腹部に5ミリの穴を3カ所あけ手術を行う空間を作るためお腹の中に炭酸ガスを注入し、そこから内視鏡(小型カメラ)や器具を入れて手術を行う方法です。
摘出した臓器は腔(ちゅう)もしくは臍から取り出します。摘出臓器が大きい場合は、臓器を細かく切って取り出しますので、創(きず)が大きくなることはありません。
子宮筋腫や卵巣腫(のうしゅ)といった婦人科良性疾患の大部分と早期の子宮頸がん・体ががんがこの方法で手術可能です。
腹腔鏡下手術は開腹手術と比較し次のような特徴があります。
①手術の傷が小さく美容的
②術後の痛みが軽い
③入院期間が短い
④早期の社会復帰
⑤術後の癒着が少ない

問合せ先 市立貝塚病院 ☎072-422-5865

産婦人科部長 岡 藤博